

デザイナー

ちいきカフェ 円と縁代表

鈴木 良雄 氏

元傾聴ボランティアグループ「ラポール」の代表を務められました。その活動中、介護施設への訪問や認知症の高齢者の傾聴ボランティアを経験して学んだこと、ノウハウを活かし地域活動に取り組まれています。



相手の話を否定せずに聴くこと。自分のことをわかってもらえたと感じて嬉しくなり、安心して次の話しをしてくれます

共感・受容・支持が大切！

あいづち、反復表情を感じ取ること

民生委員さんの活動と見守り活動では会話の内容も変わってきます

自治会に入る？
入らない？

災害が起きたら
どうする？

自治会・地域のつながりは大切！今の状況を変えていかないと！

話を切り上げるタイミングが難しい

全部を抱え込まずに専門機関へ相談も必要

人生の大先輩のおいちを聞くつもりでいます



何でも話をしたい人、なかなか自分の話をしてくれない人、認知症の方と、傾聴の相手も十人十色ですが、決して否定をせずに共感すること。褒めるきっかけを逃さず、褒めること。訪問回数を重ねるごとに表情の変化が見えてきます。と、ご自分の経験談を交えて話してくださいました。傾聴のみに留まらない鈴木さんの地域活動は、参加者の皆さん(民生委員、見守りネットワーク代表者、地域支え合い推進員(SC))にとって、とても興味深いものであり、見守り活動の方法、自治会での課題などそれぞれの立場で思っていること、悩みごとなどにも話題が広がりました。

それぞれの活動を行う上で、人と良いコミュニケーションを取るために「傾聴」のノウハウは役立つことが解りました。日々の生活においても知っていて良かったと思える、奥が深い「傾聴」です。